

令和6年度大阪府立吹田東高等学校
第1回学校運営協議会

日 時：令和6年7月8日（月）

場 所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

・委員 吉川 正晃 吹田市立千里丘中学校 校長
和田 大志郎 吹田東高等学校 後援会会長
柏渕 眞理子 東山田青少年対策委員会委員長
春貴 勇力 吹田東高等学校 PTA会長
佐伯 勇 甲南女子大学教授
飯田 亮真 アレグロ法律事務所

校長 東 知佐子 吹田東高等学校 校長
事務局 山室 裕 吹田東高等学校 教頭
神谷 朋子 吹田東高等学校 事務長
村上 明弘 吹田東高等学校 首席
丸山 勉 吹田東高等学校 指導教諭

【開会のあいさつ】 「大阪府立吹田東高等学校 校長 東 知佐子」

【実施要項等の確認】 （資料①参照）

本校東校長より「大阪府立吹田東高等学校運営協議会実施要項」の説明・確認

【会長・副会長選出】

会長 吉川 正晃（千里丘中学校校長）
副会長 和田 大志郎（吹田東高等学校後援会会長）

【議 事】

◆報告事項

(1) 令和5年度学校経営計画及び学校評価について （資料②参照）
本校東校長より「令和5年度学校経営計画及び学校評価」の説明

- Q 委員 習熟度別等二つに分けた講習が効果的だと思う。
A 教科によっては国公立大学や私立大学に対応した講習を分けて行っている。
Q 委員 塾では行っていると思うが、それぞれの学力を上げるためにはいい傾向だと思う。
A 両方受講できるようになっている。

(2) 進路状況について (資料③参照)

本校山室教頭より説明

- ・4年生大学進学者の実数は過去5年間210名以上をキープしている。
- ・45期生の80%の生徒が4年生大学へ進学している。
- ・48期生は例年より1クラス少ない学年だったが、学校推薦型選抜で国公立大学の岩手大学に、一般選抜で琉球大学に合格者を輩出できた。私立大学では関関同立に27名、産近甲龍に136名の合格者を輩出できた。
- ・1クラス減に伴い、関関同立の合格数が令和5年度から令和6年度で50名→27名と23名少なくなっているが、進学者の実数では25名→18名と、4年制大学進学者中における割合としては大きな減少は見られなかった。
- ・医療看護系進学者は約30名で、例年同様卒業生の1割強を占めている。
- ・就職、公務員は1名で、毎年一定のニーズがあり、きめ細かな進路指導を継続している。
- ・浪人、進路未定者が17名と45期生以降は低い水準にあった。現役志向、4年制大学志向の強まりが続いているものと考えられる。

Q 委員 関関同立の合格者が減った原因は何か。

A 1人の複数校受験が減少した。

(3) 新入生アンケート結果について (資料④参照)

本校村上首席より説明

- ・毎年新1年生を対象に意識実態調査を含め、今年度は4月10日に51期生361名を対象におこなった。
- ・全体としては数年間大きな変化は無く、同じような傾向。
- ・吹田東高校が第一志望である割合は82.7%で8割を超え、過去最高値を更新した。第一志望が山田高校であった生徒の割合は3年連続75%となっている。
- ・本校の受験理由としては今年も成績・新校舎が多く、「どのような学校と聞いていたか」の回答では「厳しい」が昨年より少し増加しており、「まじめ」の回答が今まででは一番低くなっている。また、「楽しい」「雰囲気が良い」と聞いていた生徒がより一層増えている。昨年度まで「行事が盛ん」の割合が高くなっていたが、今年度は少し低くなっている。
- ・得意不得意科目については、51期生は国語・数学・社会が得意な生徒が多く、英語が苦手である生徒が多い傾向が見られた。

Q 委員 アンケート結果から特に何か取り組みを行っているのか。

A 今は特に行っていないが、今後活かしていきたい。

Q 委員 「どのような学校と聞いていたか」の回答で「楽しい」「雰囲気がいい」が年々増加しているが、学校として何か取り組んでいるのか。

A 学校行事等で生徒が説明や発表している動画を複数作成し、オープンスクールや学校説明会で上映している。

(4) 令和7年度教科書選定について (資料⑤参照)

本校山室教頭より説明

- ・観点の内容は例年と同じで、各教科で選ぶ。

(5) 令和6年度学校経営計画について (資料⑥参照)

本校東校長より説明

- ・「めざす学校像」「中期的目標」は昨年度の学校運営協議会で承認されている。
- ・大きくは昨年と変更無し。

Q 委員 「全体として授業に満足している」の肯定的回答が R3 から年々減少しているが、目標の 85% は難しいのではないか。

A R3 が一気に増加し 82.3% だったのでその目標にしている。
授業アンケート結果では維持できているが、学校教育自己診断の結果では下がってきている。
原因分析を行っていきたい。

委員 第1回の資料では、昨年の変更点をアンダーライン等で解りやすくしてほしい。

A 次回から解りやすくする。

(6) DX ハイスクール採択について (資料⑦参照)

本校東校長より説明

- ・今年度に限り文科省から 1000 校に DX の推進に役立てるため予算建てしたものを本校が選ばれた。
- ・3 年生の総合探求で DX に関わるもの作りをやっていくため申し込んだ。
- ・「デジタル人材育成のために実施する中期的な取組」「デジタル人材育成のために実施する短期的な取組」の説明

(7) 府立高校の魅力化に向けたアンケート調査結果 (資料⑧参照)

本校東校長より説明

- ・昨年9月に行った府立高校1年生対象のアンケート結果(本校生は213名が回答)。
今年度は7月に行う。
- ・他校とのアンケート結果の比較説明。(特に目立った特徴が無かった)

【諸連絡】

次回 11月下旬～12月上旬 (予定)